

事務事業名 アジア太平洋子ども会議招聘事業

出力日：令和04年03月15日

キーコード：1261

施策：	20	生涯学習・社会教育の推進	財務コード	01090603-27-00
基本事業：	03	異文化理解の推進	担当部	教育部
基本事業の成果指標	国際交流が推進されていると思う市民の割合		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習推進・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
ホストファミリー・学校（児童）			<p>「アジア太平洋子ども会議・イン福岡（APCC）」招聘事業に参加7月にアジア・太平洋の国・地域から、子ども大使団（11歳の子どもと大人の引率者）を受け入れている。ホストファミリー宅で生活しながら、生活や学校登校、地域行事に参加しながら日本の文化に触れる。日本と海外の子どもたちがお互いを認め合い、友情を深める。</p> <p>令和元(2019)年度より、事業名称が「BRIDGE KIDS PROGRAMS『BRIDGE Summer Camp』」に変更された。</p> <p>業務内容 APCC主催会議等参加：パートナー窓口会議、ホストファミリー研修会、ホストファミリーのつどい ホストファミリー関係：ホストファミリー募集、国別ミーティング、学校との連絡調整 歓迎式典対応：対面式、交流会</p>							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
この事業に係わった人が、肌の違い、ことばの違い、文化の違い等の体験を通して、互いの違いを認め、互いを尊重し理解し合える人権感覚を身につけた市民となる。										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	01年度実績	02年度実績	03年度当初	04年度要求	05年度計画	06年度計画	目標	
ホストファミリー数（世帯数）		世帯数	5	0	5	5			5	
5. コスト										
事業費		計	千円	92	4	105	86			
		国	千円	0		0	0			
		県	千円	0		0	0			
		地方債	千円	0		0	0			
		その他	千円	0		0	0			
		一般	千円	92	4	105	86			
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1					
正職員人件費		千円	807	803	792					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	899	807	897	86				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）		ホストファミリーは小学校の輪番とし、当番1年前には校長先生を歓迎式に招くなど、事業周知に努め、ホストファミリーの確保に努めた。 令和2年度は、新型コロナウイルスにより、アジア太平洋子ども会議招聘事業実行委員会が事業中止を決定した。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	子どもが関わる国際交流であり、言語や文化の違いを乗り越え、お互いを認め合い、「思いやり」の気持ちを育む貴重な機会となるため、今後とも計青くしていくことが大切である。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし							
成果向上余地	小さい									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
子ども大使の受け入れが、よりスムーズになるよう、引き続き募集方法や運営を検討する。										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）						備考・特記事項 or 進行管理欄				
1989年「アジア太平洋博覧会 - よかトピア」の記念事業としてスタート。 2019年より、事業名称が「BRIDGE KIDS PROGRAMS『Bridge Summer Camp』」と改められた。										